

室原会だより

Vol. 99

新春号

令和2年1月

ふれあい

(題字 室原亥十二)



室原亥十二会長／「認知症と知覚障害」

第23回院内各部署発表会

菊南病院 慰霊祭

学会参加報告

ふれあいア・レ・コレ

短期連載3／リハビリテーションの黎明より

Dr.古庄のサイクリング紀行／Dr.赤星のスポーツと私

うりぼう／グループホームきくなんだより ...and more

室原 内科・小児科

〒862-0949
熊本市中央区国府1丁目11番9号
Tel 096-364-3080 Fax 096-366-4668

菊南病院

〒861-5517
熊本市北区鶴羽田3丁目1番53号
Tel 096-344-1711 Fax 096-344-1726

水前寺高齢者複合施設

〒862-0949
熊本市中央区国府1丁目3番15号
Tel 096-364-1210 Fax 096-364-1221

グループホームきくなん

〒861-5517
熊本市北区鶴羽田3丁目11番15号
Tel 096-345-2260 Fax 096-345-2261

第23回 院内各部署発表会

令和元年11月27日(水)に院内各部署発表会を開催しました。菊南病院では院内発表会を通じて、お互いを知り、認め合い、部署を越えた協力体制の強化を図り、各種の技術向上を目的として行っています。

第23回 菊南病院 院内各部署発表会

日時：2019年11月27日(水)17:15～
場所：5階多目的ホール

- 「摂食嚥下検討会 活動報告」
リハビリ病棟 ☆久保博子
平眞理子、坂口優
- 「高流量鼻カニューラ酸素療法の導入事例」
医療安全管理室 ☆大戸貴史
- 「当院大腿骨近位部骨折患者
における転帰先の傾向とその要因」
リハビリテーション部
☆中村勇貴、山本爽佳
志水大翔、和田昂也



新しい選択肢

酸素療法

人工呼吸器

NHFを使用しNPPV離脱をすることができました。呼吸補助に関してはNPPVの方が優れていました。

NHFは使用のガイドラインもなくエビデンスに乏しい部分もありますが、今後在宅などの分野にも進出する可能性もあり、需要は拡大していくと言われています。当院でも今回の経験を活かして、NHFを使用し患者さんにより良い医療を提供できるようになればと考えます。

「高流量鼻カニューラ 酸素療法の導入事例」 医療安全管理室 ☆大戸貴史

Ⅲこれまでの活動内容

1.誰もが通じた食支援が行える環境整備

問題点①: 嚥下障害に応じた「トロミ」のついた飲み物の提供が統一出来ていない。

【要因】

- 食事の際に提供されるお茶や牛乳にトロミをつけるのは病棟××が行っているが、認識に差がある。
- 食事前後は業務多忙な時間帯である(3回の食事のうち2回の食事は夜勤時)
- 「トロミ」をつけた飲み物は時間により形状変化をきたす。
- (お茶は30分経過でゆるくなり、牛乳は30分経過すると固くなる)

「摂食嚥下検討会 活動報告」 リハビリ病棟 ☆久保博子・平眞理子・坂口優

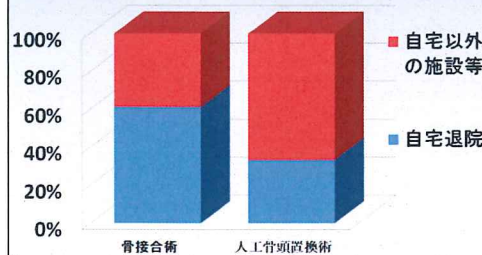
患者にとって安全で安楽で、食事ができる喜びや楽しさを味わってもらうためには、適切な支援が受けられる食事時間の確保、場所の改善の必要があります。「食べる」という行為は、認知機能の向上に繋がります。臨床症状が複雑でケアの標準化が困難な認知症に立ち向かう為にも、委員会を通して食への支援を行っていきたいと思います。

質疑応答の様子



術式と転帰先

骨接合術と人工骨頭置換術の退院先割合比較
(急性期転院、死亡例を除く)



「当院大腿骨近位部骨折患者 における転帰先の傾向とその要因」 リハビリテーション部 ☆中村勇貴・山本爽佳・志水大翔・和田昂也

近年、本骨折に対しては、急性期医療機関で手術が行われたのち、回復期医療機関に転院してリハビリテーションが行われています。

大腿骨近位部骨折は高齢者に頻発し、寝たきりの大きな原因となっています。これを防ぐために、手術による早期離床、適切なリハビリ、退院後継続したリハビリや骨粗しょう症治療による転倒・骨折予防などの一貫した治療・生活指導が必要です。

菊南病院 慰霊祭



令和元年十一月二日(土)に、当院でこの一年間にお亡くなりになりました患者様、また在宅にてお看取り致しました患者様のご冥福をお祈りするため、「第一回菊南病院慰霊祭」(偲ぶ会)を開催しました。

第一部・式典と第二部・茶話会の次第の下、ご家族の皆様・職員は祭壇へカーネーションを献花して哀悼の意を捧げ、またミニコンサート

にてハンドフルート奏者の高山大地さんをお迎えし、「アヴェヴェマリア」「見上げてごらん夜の星を」「涙そうそう」「糸」の優しい音色に耳を傾け大切な人を追想しておられました。

式典の後には茶話会を行い、ケーキと温かい飲み物で卓を囲み、職員を交えて故人を懐かしむ会話の輪が各所で広がっていました。

主催者挨拶の中で室原院長は、「私たちは、亡くなられた方々のカルテを見返していつも自問しています。人生最期の時の旅立ちを医療従事者として責務を全うできたでしょうか？大切な身内のお看取りに対して、ご家族に寄り添えたでしょうか？

超高齢化社会を迎え、生きていることへの価値観が大きく変化しているこの時代にこれらの問いの答えは一つではありません。私たちに今、出来ることは、故人を偲び、そしてご家族に少しでも寄り添うことだと思えば、本日の慰霊祭を企画させて頂きました。」と説明されました。実際、参加されたご家族様には、アンケートにて「この様な会を持って下さりありがとうございます」「今回の会で癒されました」「和やかに寂しい心が少し楽になったと思います」「やさしい気持ちになりました」等、感謝のお言葉を多数頂きました。

私たち職員一同はこのかけがいのない温かな時間を共有出来たことに深く感謝し、今後ともより一層のやすらぎや安心を患者様、ご家族様に与えられるようになりたいと改めて感じています。

第7回熊本市在宅医療市民講演会「自分で決める残りの人生」



令和元年11月9日(土)熊本市医師会館にて市民講演会が開催され、市民ら約120名が聴講した。この講演会は、在宅医療についての理解を深めること

で、在宅医療が入院・通院と並ぶ選択肢の1つとして広く普及することを目的に市が開催している。

今回は、第一部に菊南病院 室原良治院長が講演を行い、第二部には室原院長の脚本を基に、家族のみとり方や自分らしい最期を迎える準備のあり方を考える一人芝居を上演した。劇団「不思議少年」の大迫旭洋代表が、父親をがんで亡くし、自身もがんで余命3ヵ月という70歳男性を演じた。



トムソーヤの会

2019.11.1



熊本病院対抗ソフトボール大会

2019.11.10



熊本県病院対抗バドミントン大会

2019.11.4



職場対抗ボーリング大会

2019.10.19



令和元年 菊南病院 忘年会 in 菊南温泉ユウベルホテル



互助会親睦会



11月10日、17日に総勢41名で雲仙みかどホテルに行ってまいりました。

今回はフェリーで行く！ランチ&温泉&観劇の日帰りプランを満喫しました。

両日ともに天候に恵まれ、フェリーからの眺めは大変気持ちよく癒されました。

ビュッフェは種類が豊富でつい食べ過ぎてしまいました。ランチの後は温泉と観劇でゆったりとした時間を楽しむことができました。

皆さんも家族や友人との小旅行に利用してみたいはいかがでしょうか？

一忘年会

令和元年12月11日に、室原内科小児科・水前寺高齢者複合施設・ファミリー調剤薬局合同の忘年会を「松屋本館」にて開催致しました。

今回は趣向をかえて、いつもと一味違う忘年会で大いに盛り上がり、大変有意義なコミュニケーションの場となりました。



菊南病院行事食献立



***2019クリスマス**

- ・サフランご飯
- ・フライドチキン
- ・クリスマスサラダ
- ・オリオングラタンスープ
- ・シャンパン

お品書き

***2020おせち祝い折**

| | |
|------------------------|------------------------------------|
| ・祝い肴三種(黒豆、数の子、白子の田作り風) | ・紅白なます |
| ・ぶりの照り焼き | ・炊き合わせ(里芋、椎茸、人参、蓮根、牛蒡、巻昆布、手毬麩、絹さや) |
| ・エビのつや煮 | ・栗きんとん |
| ・カニ爪フライ | ・梅花りんごニッケ寒天、 |
| ・サーモンの大根巻き | ・柚子淡雪寒天 |
| ・豚の角煮 | ・金柑甘煮 |
| ・紅白かまぼこ | |
| ・だし巻き卵 | |



認知症と知覚障害

ふれあい98号「こころ」シリーズ続き

(しかたがない症候群)

室原会会長 室原 亥十二

アレ? そんな症候群があったかな。

オレ 知らないよ

そんなにかまえなくてよいです。知らなくて当然です。なぜなら私が私だけに勝手につけた症候群です。勿論、エビデンス等なし。

主な条件は次の4つ

- (1) 高齢者
- (2) 原因は感染でもなく悪性の腫瘍でも、循環器障害でもない
- (3) 症状としては
 - 1) 体外…体性感覚—しびれ・痛覚・圧覚・温度覚・触覚・その他の不調→視床→頭頂葉(中心後回)→前頭前野
 - 2) 体内…深部感覚—内臓・筋肉・脊柱・関節の痛み・その他の不調→視床→大脳皮質→前頭前野
- (4) 認知症 関連なし

体外・体内の情報を媒介しているのが脳の100兆に及ぶと言われているニューロンの回路です。

その脳の高次機能検査が認知症テストその他の検査です。

①認知症テスト

②血液検査 (β アミロイド、その他の蛋白質)

③画像診断 (CT・MRI・SPECT・PET)

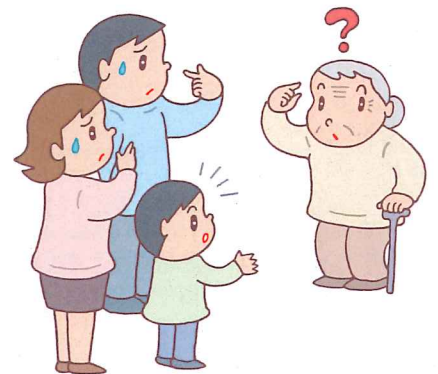
私は症状(1)(2)の条件は満たしているので、(4)の認知症検査①②③をうけました。

| | HDS-R MMSE (医師の場合ナンセンス) | MCIリスク (β アミロイド測定) | 脳画像 CT (数値化できないか) |
|-------------|-------------------------------|------------------------------|----------------------|
| 2019年3月15日 | | 0.53 | |
| 2019年11月18日 | 30点 | 0.61 | |
| 2020年1月9日 | | | 年齢相応の脳萎縮と虚血性変化あり |

この様に私はまだ認知症ではないようです。

然し、最近前記(3)の諸機能が低下が著しく、かかりつけの医師に苦痛を訴えても、それは年相応のせいで「しかたがないでしょう」と説明された理由のようです。年齢と関係なく認知症と体性感覚や深部知覚の関係についてはあまり研究報告がないようですが、日常的に認知症患者に多い転倒・打撲後の訴えは勿論あり疼痛については、治療を要することしばしば。正常な人は、苦痛をモロに受けるので、強い痛み等は当然「しかたがない」と言われるのも妙に納得。触覚については閾値の比較研究がなされていますが、痛み等については私は不勉強です。人は加齢の果てニューロンに変性を生じ、認知症を経て高次脳機能と人格喪失で生涯を閉じる。これこそ本当に「しかたがない」。症候群の段階での対応はないものか。高齢者で許されるのは保存療法だが、これはあまり効なし。

知能と知覚とは当然閾値のズレはあると思いますが、症候群にも救いがほしい。こころの痛みにも救いを。終



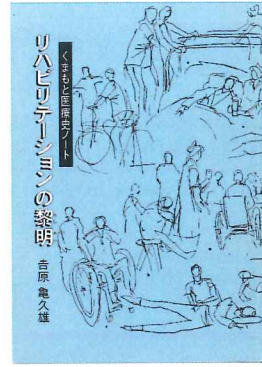
参考:

- ・入門人体解剖学 藤田恒夫 1972
- ・恍惚の人 有吉佐和子 1972
- ・脳と心的世界 マーク・ソームズ 2008
- ・脳からみた認知症 伊古田俊夫 2012

- ・記憶と情動の脳科学 ジェームズ・L.マッガウ 2013
- ・脳の意識・機械の意識 渡辺正峰 2019(再)
- ・ビッグクエスチョンに答えよう スティーヴン・ホーキング 2019
- ・21Lessons (21世紀の人類のため) ユヴァル・ノア・ハラリ 2019
- ・視覚・聴覚・触覚の認知症検査 呉 景龍 2010

「くまもと医療史ノート リハビリテーションの黎明」より

吉原 亀久雄



この連載は、熊本県におけるリハ医療勃興についてまとめ、一九九七年に熊本新評者より発行されました「くまもと医療史ノート リハビリテーションの黎明」より、菊南病院の創設時の部分を抜粋したものです。快く掲載をご了承頂きました著者の吉原亀久雄氏に、心より御礼申し上げます。

第一章 メディカルリハビリテーションの勃興 ―内科系も運動療法承認施設を志向―

PTを配置してのスタート

さて、病院建設計画に着手したのと同時進行で、医療チームの求人も開始した。理学療法士・作業療法士法が制定されたのが昭和四〇年六月で、「翌年より国家試験が実施され、初年度の合格者は僅か全国百八十三名。その翌年が三百十名と、熊本県理学療法士協会も当初三、四名でスタート、十年後の昭和五二年に二十余名となった」（熊本リハビリテーション研究会20周年記念誌）、そうした情勢の昭和四〇年（一九六五）代で、PTを求

めて病院を開院することは、とても計画できる時代ではなかった。

ところが、関係医療界の紹介で、宮崎県の医療前線に勤務中のPTの協力を得られることとなった。やがて室原は、湯之見病院へ出て行って、三隅とともに、そのPTと面談した。そのPTが、後に熊本県理学療法士会会長となったPT高柳朔司であった。法制化して第一回（特例）国試の合格組である。

三人の出会いによって、リハビリテーション医療の一つの計画が具体化していった。推進役の中心に立つ三隅は、昭和四二年スタートの熊本リハビリテーション研究会の最初からのメンバーであった。その「20周年記念誌」に当時をこう述懐している。「―医師は整形外科のかたが殆どで、最初、内科系は私がリハビリ専門病院に居た関係で、只一人その中に加えて頂いた。内科疾患のリハビリテーションを顧みると、脳卒中は高血圧・心臓病・高脂血症等の基礎疾患を持った全身病であり、従って脳卒中のリハビリテーションを始める時には、訓練に伴うリスクを考え、何時から訓練を開始し、運動量ほどの程度にするかという事から先ず始めなければならなかった。（略）」（つづく）

学会等参加報告

医療法人室原会職員の、平成31年度学会参加状況を報告致します。

医局

■室原良治 院長

- ・第116回日本内科学会総会 講演会/ 令和元年4月26日～28日
- ・在宅医療市民講演会/ 令和元年11月9日
- ※講師として参加
- ・第119回九州医師会医学会内科学会/令和元年11月17日
- ※演者として参加 演題「閉塞性尿路感染症により高アンモニア血症及び意識障害を呈した症例」

■加古博史 副院長

- ・第119回日本外科学会/平成31年4月18日～20日
- ・第101回日本消化器内視鏡学会九州支部例会/ 令和元年5月24日～25日
- ・第27回日本乳癌学会学術総会/ 令和元年7月11日～13日
- ・第27回日本消化器関連学会週間/令和元年11月21日～24日
- ・第119回日本外科学会定期学術集会・第95回卒後教育セミナー/ 令和元年4月20日
- ・第92回日本産業衛生学会/ 令和元年5月22日～25日
- ・第95回日本結核・非結核性抗酸菌症学会総会/ 令和元年6月11日～12日
- ・第116回日本内科学会総会 講演会/ 平成31年4月26日～28日

■鈴木 俊二先生
■堀 雅晴 先生

- ・第5回日本心臓リハビリテーション学会九州支部地方会/ 令和元年10月19日～20日

健康管理部

■榎寺高弘
臨床検査科
■緒方由紀子、北川有希
薬剤部

- ・2019年度日臨技九州支部医学検査学会/令和元年11月2日～3日

■橋本智子、森塚志帆、

犬童博信

- ・第13回日本腎臓学会病薬物療法学会学術集会・総会2019/ 令和元年11月16日～17日

リハビリテーション部

■清崎太浩

- ・日本心臓リハビリテーション学会 九州支部地方会/令和元年10月19日
- ※演者として参加 演題「当院で取り組む心臓リハビリテーションにおける医療と介護の連携」

菊南病院職員は年間約300件の研修に参加しています。

令和2年度の参加予定も着々と決まっており、新しい時代も益々自己研鑽に励んでまいりたいと存じます。

ドクター古庄のサイクリング紀行

菊南病院 副院長
古庄 伸行

40. 松本喜三郎の生人形



松本喜三郎は江戸時代末期から明治時代に活躍した人形師です。喜三郎の作品は生きた人間と見まがうほどだったので、「生人形(いきになぎょう)」と称されました。喜三郎が生まれたのは、熊本の井手ノ口町(現在の熊本市中央区迎町)で、幼い頃から地蔵祭りの造り物に心を奪われようになり、様々な職人技を覚え、二十歳の頃にはまるで生きていくかのようなリアルティ溢れる人形を造るようになりました。やがて数十体の人形にテーマ性を持たせて製作・展示するようになり、幕末以降、大阪や東京での見世物興行が喝采を受けるようになり、日本を代表する人形師となりました。その作品は、米国のスミソニアン自然史博物館にも収蔵されているそうです。

喜三郎が作った二百体以上の「生人形」のうち、国内に現存する物は十数体となってしまいました。熊本では、熊本市現代美術館に収蔵されているものの他に喜三郎の作品を数カ所で見ることが出来ます。春日町にある来迎院(らいごういん)には晩年の名作・聖観音菩薩像(しょうかんのんぼさつぞう)が寄進されています。また、喜三郎作の「谷汲(たにぐみ)観音像(別

名:巡礼姿観音像)」が寄進されている高平の浄国寺は喜三郎の菩提寺で、毎年、喜三郎の命日の前日であ



(左が来迎院の「聖観音菩薩像」、右が浄国寺の「谷汲観音像」)

る海の日(四月二十九日)には、浄国寺で墓前祭が行われます。それからもうひとつ、「五福まちづくり交流センター」に展示してある閻魔像が喜三郎の作だと言いつたえられています。

数年前の海の日には、自転車仲間を誘って、春日の来迎院、五福まちづくり交流センター、そして高平の浄国寺を廻り、最後には浄国寺の近くにある喜三郎の墓を訪ね、日本を代表する人形師の作品を鑑賞し、その情熱を感じてきました。

DO SPORTS

スポーツと私

運動のすすめ 3



副院長 循環器科
赤星 隆一郎

私が医学部の学生だった頃といっても50年以上前になりますが、内科の講義で日本の糖尿病患者が約100万人と聞き驚きました。

その後日本はめざましい経済発展を遂げ車社会を迎えました。自家用車の保有台数の増加と反比例して生活習慣病(肥満、高血圧、糖尿病、脂質異常症等)は増加の一途を辿り、最近の有病者数は糖尿病は約800万人、高血圧はなんと約4000万人と推定されています。その主因は過食(と言うよりも飽食)と運動不足です。

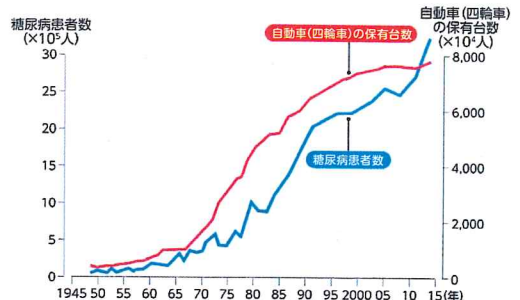
現代の日本人の運動不足は厚生労働省の資料からも明らかです。モータリゼーション前の日本人は医者に指示されなくても日常生活で約7Km(約1万歩)歩いていました。この半世紀我々は経済的に豊かになった半面で多くのものを失ったのも事実です。

自然界では「餓え」が自然の状態であり、動物の体はエネルギー不足に対処するための様々なシステムが備わっています。これは進化によってもたらされた変化であり、環境の変化に応じて数万年から数百万年かけて獲得されたものです。進化論的に考えると高々50年程の環境の変化に我々の体が追い付いていかないのは当然のことです。更に、生活習慣病の行きつく先は動脈硬化症(脳卒中、心筋梗塞、腎不全等)、癌或いは骨粗鬆症などの厄介な病気です。

これ等はQOLを落とし、多大な苦痛をもたらします。

これ等の病気で失うものの大きさと多さを考えると、ただ単に長生きすれば良いのではなく元気で長生きしなければなりません。生活習慣病は長い間無症状で極端に悪化して初めて自覚症状が出てきます。この数年から数十年に亘る無症状期に生活習慣を是正する必要があります。

情報化と国際化社会を迎えましたが、元来日本には「足るを知る」という欲望をコントロールする文化があります。欲望を完全に押さえつけるのではなく、無限大に増大するのを予防する知恵です。特に食事に関しては、この知恵を活用すべきです。食事についてはまた別の機会にお話しします。患者様や人間ドック・健診の受診者に運動の必要性をお話することが多いのですが、多忙な現代の生活で運動のためにまとまった時間を確保するのは困難です。次回はどうのように運動するのかを具体的に説明します。



写真※自家用車保有台数と糖尿病患者数の推移

うりぼう



～ 施設の楽しい行事を紹介します。～

水前寺高齢者複合施設
小規模多機能 いとし
グループホーム 鈴の音
水前寺有料老人ホーム

2020



お正月



初詣



お守り
かいました!



お屠蘇
いただきます。

福笑い

凧あげ



グループホーム きくなん だより

テクノロジーパーク



天気の日ドライブへ

干し柿作り



美味しく
なあれ!

クリスマス会



初詣



無病息災をお願いしに行きました♪

◆外来担当医当番表◆

●急患の方以外全て予約制です 令和2年2月～

菊南病院

| | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----------------------|----|-----------|------------|---------------------------|----|----------------------------|
| 午前 | 1診 | 室原 | 赤星 | 室原 | 梅田 | 赤星 | 室原 |
| | 9:00 } | 2診 | 古庄 | 堀 | 古庄 | 加古 | 堀(第1.3) 中島(第2.4)鈴木(第5) |
| | 12:00 | 3診 | うねだ 采田 | 整形外科 前田 | 鈴木 | 南 | 堀 前田(第1.3-5) 南(第2.4) |
| 午後 | 1診 | 東 | — | 室原 | 室原 | — | |
| | 13:00 } | 2診 | 中島 | 鈴木 | うねだ 采田 | 鈴木 | 禁煙外来 古庄 |
| | 17:00 (2診は院内健診含む) | 3診 | 南 | 南 | 神経内科 14時～17時 守屋(隔週) | — | 禁煙外来 赤星 |

○受付時間：月～金（午前）8:30～11:30まで （午後）12:30～16:30まで
土（午前のみ）8:30～11:30まで

○休診日：日曜・祝日・年末年始等 ※但し、急患の場合はこの限りではありません。

一医師情報一

| | |
|------|---------------------|
| 東 | 呼吸器 ※要予約 |
| 守屋 | 神経内科 ※隔週（事前にご確認下さい） |
| 禁煙外来 | 毎週金曜日の午後 ※要予約 |

★都合により受付終了時間が早まる場合がございます。ご了承くださいませ★

令和元年5月現在

室原内科・小児科

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|---------------|--------------------|-----------------|----|---------------------------|---------------------------|
| 午前 | 室原亥十二 梅田Dr | 室原亥十二 梅田Dr | 室原亥十二 | 休診 | 室原亥十二 梅田Dr | 室原亥十二 糖尿病外来 (後藤Dr) |
| | | ★動脈硬化検査 (第1・第3) | 高血圧外来 (梅田Dr) | | 腹部エコー検査 (第4) | 腹部エコー検査 (第2) |
| 午後 | 室原亥十二 梅田Dr | 室原亥十二 梅田Dr | 室原亥十二 | 休診 | 室原亥十二 心臓外来 (室原良治Dr) | 室原亥十二 心臓外来 (室原良治Dr) |
| | | ★動脈硬化検査 (第1・第3) | 喘息外来 (宮崎Dr) | | | |

☆午前8:30～12:00 午後1:30～3:00

●診察日・時間：月～土曜日（木曜日を除く） 午前8:30～午後6:00

●休診日・時間：木曜日・日曜日・祝祭日・年末年始等

編集後記

編集長 室原 鈴子

樹々の葉が風で落ちる時の音を雨に例えて『木の葉時雨』ときいたが、ハラハラと落ちる木の葉は冬の訪れを感じる。新春号のトップを飾って「第二三回院内各部署発表会」は、お互いを知り、認め合い、協力体制の強化がモットーで、新しい人生へ向かう一つの契機に実り多い行事と大拍手！大変有意義かつ、効果が大きいと思った。また、「第一回菊南病院慰霊祭」では、故人を偲び、ご家族に少しでも寄り添う云々の院長の挨拶、菊南病院の皆さんの細やかな愛の紡ぎ、と感激した。ご参加の方のアンケート、ありがたく受け止めたいと思う。

職員の皆様、「学会参加報告」ご多忙の中ご苦勞様でした。「ふれあいアレコレ」の諸行事も、皆さん方のすばらしいスマイル！はちきれんばかりの若さ。ファイト・エネルギー！超年齢の私も思わず勇氣！元氣！を頂きましたよ。

十一月九日市民講演会に私も参加したが、良治院長脚本の、大迫氏による一人芝居、説得力があり、見応えがあり、会場は盛り上がりすぎてすばらしいものだった。最後はひとかどの役者気取りで、一同行をつなぎ来場者に一礼。拍手喝采だった。

好評の「行事食」皆さんの患者さんへの愛の結晶のお料理です。

古庄Drの松本喜三郎氏の生人形。天才の名をほしのままの作品、すばらしさに驚愕しきり。赤星Drの「運動のすすめ」糖尿病の私は、一言一句身に沁みお勉強になり、心からお礼申し上げます。

「うりぼう」「グループホームきくんだより」も楽しんでください。

春よ来い！早くこい、と歌いながら……

この冬は今のところ暖冬で幸せです。